

や教員が、しるやま支援学校の児童と一緒に餅をついた



「だ」と楽しいね」

制と定時制と支援学校

延岡青朋高校

子どもと高齢者250人が交流

門川 ふれあい地球館

門川町庵川地区にある高齢者福祉施設ふれあい地球館(森迫研晴統括管理者)は18日、近隣の7事業所と門川



ふれあい地球館で餅つきを楽しむ子どもたち

町社会福祉協議会、ボランティア団体などを招いて、餅つき交流会を開いた。

今年で18回目となる年末恒例の行事。各事業所の利用者や児童発達支援センターあさひ学園と同町子育て支援センターの幼児ら約250人が参加した。

同社協の中城廣美会長が「平成最後の餅つき。来年に向けて粘りのあるおいしい餅をついてください」とあいさつ。子どもたちと合唱をした後、餅つきをした。

つき手が代わる代わるにきねを振ると、見守る人たちは「ヨイシヨ、ヨイシヨ」と掛け声で応援。子どもも高齢者も一緒に楽しく餅をついた。つきあげたもち米は全部で50キ。西門川小学校の児童が育てたものを提供してもらったという。

ついた餅は、正月用の鏡餅として各事業所にプレゼントし、その他は丸餅にして各自で持ち帰った。